



日本シティズンシップ教育フォーラム (J-CEF)

シティズンシップ教育研究大会 2025

第一次案内

日本シティズンシップ教育フォーラムでは「研究」に力点を置いた交流と研究発展に向けた場として、9月28日(日)に「シティズンシップ教育研究大会 2025」を開催いたします。

「シティズンシップ教育研究大会」は、「シティズンシップ教育」をキーワードに、多様なディシプリンの垣根を越えた知見交流を通じて、これまでの自らの研究のあり方を振り返り、今後のシティズンシップ教育研究のありようを共に考えるプラットフォームとして、2019年度から開催してまいりました。これまでの研究大会では、政治学・社会学・教育学・心理学・哲学など多様なバックグラウンドの研究者はもちろんのこと、実践者、大学院生、学部生などの参加もありました。

今年度も、多様な研究者、学生のみなさんを繋ぐ場となれどと考えています。本大会はオンライン開催となっています。オンラインであることのメリットを生かし、地理的に離れた場所にある方々を繋ぐ契機となれどと考えています。

自由研究発表の発表者の皆さまには、発表申し込みの際に、自分の研究が該当する「アプローチ」と「キーワード」を選択して頂きます。大会実行委員会としては、これらのアプローチ・キーワードの情報をもとに、発表者同士が研究の多様性を感じながら、同時に共通する問題意識の接点を生み出せるように、分科会を編成していく予定です。

今回のシンポジウムのテーマは「現代のシティズンシップ教育の見取り図を考える」です。多彩な研究／実践が広がるシティズンシップ教育の全体像を捉える見取り図を手にする事は、私たちが垣根を越えた知見交流を進めたり、共同研究／協働実践を進めたりする上で重要なことでしょう。そこで今回は日本シティズンシップ教育フォーラム (J-CEF) が監修し、今夏に公刊されるテキストを議論の起点に置き、その到達点と課題点を見つめながら、どのような見取り図を私たちは創り出していくべきかを考えていきます。

この分野の研究に長く取り組まれてきた方々のみならず、大学院生や学部生の方を含む若手の方や、新たに関心を持たれた方、さらに他分野へのつながりをつくりだしたい方にもぜひ積極的にお越しいただき、今年度もシティズンシップ教育研究をともに切り拓いていくプラットフォームとなれば幸いです。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

1. 概要

■日時：2025年9月28日(日) 10時～17時30分

(任意参加のアフタートークは18時30分まで)

■会場：オンライン開催 (参加者の方々に zoom ミーティングルームの URL を共有します)

■対象：シティズンシップ教育研究に関心をもつ方々なら、誰でも参加できます。

若手研究者・院生・学部生の参加も歓迎いたします。

■主催：日本シティズンシップ教育フォーラム (J-CEF)

2. 全体スケジュール

| 時間 | 内容 |
|-------------|-------------------------------|
| 10:00～12:00 | シンポジウム「現代のシティズンシップ教育の見取図を考える」 |
| 13:15～15:00 | 自由研究発表セッション①（分科会ごとでの実施） |
| 15:30～17:15 | 自由研究発表セッション②（分科会ごとでの実施） |
| 17:30～18:30 | アフタートーク（任意参加） |

3. 参加費

- ・高校生：無料
- ・学生・院生：500円（発表者：無料）
- ・一般：1,000円

4. 大会企画

今回の研究大会では、二種類のセッションで企画を構成します。

(1)シンポジウム

参加者が一同に会し、共にシティズンシップ教育研究について考えます。

(2)自由研究発表セッション

発表者の研究成果について口頭で発表し、参加者と質疑応答やディスカッションを行います。

▶この度、自由研究発表セッションの発表者を募集いたします。

(1)シンポジウム

■テーマ：現代のシティズンシップ教育の見取図を考える

■趣旨

日本シティズンシップ教育フォーラム（J-CEF）は2023年に設立10周年を迎えた際、記念事業として出版企画を進めるプロジェクトを立ち上げました。そのねらいは専門分化していく研究／実践を横断的につないでいくための見取図の一つを提起することでした。

2002年のイングランドでのシティズンシップ教育の制度化の動きを受けて、日本でもシティズンシップ教育に対する関心が集まるようになりました。そこから20年余を経た現在、シティズンシップ教育研究には広がりや深まりが見られるようになりました。毎年、厚みのある研究成果が出版／発表され、本研究大会でも各分野から数多くの研究報告がなされるようになっていきます。

こうした広がりや深まりの進展によって、全体像をつかみ取る難しさが増しているようにも思われます。特に初学者にとってはなおさらでしょう。そこで全体像を捉えるための見晴らしを良くする入門書を出版することになりました。こうした企画を進める際、各面でどのような研究／実践の蓄積がなされているのかを把握するのみならず、「これまで」のシティズンシップ教育の見取図で十分な扱いを受けていなかったことが何か、「これから」のシティズンシップ教育で重視して扱うべきことが何かといった問いに対して、現代的視点からの再考が求められることとなります。

その結果を踏まえて、28名の方々に筆を執っていただいた『民主的社會をつくるシティズンシッ

『教育』がナカニシヤ出版から今夏に公刊されます。本シンポジウムでは、同書の試みを参照点の一つとしつつ、現代のシティズンシップ教育の見取り図とはどのようなものか、皆さんと一緒に考えていきます。

■登壇者 (五十音順)

- 川口広美さん (広島大学大学院人間社会科学研究科准教授)
- 桑原敏典さん (岡山大学学術研究院教育学域教授)
- 群司日奈乃さん (千葉大学大学院人文公共学府博士後期課程)
- 杉浦真理さん (立命館宇治高等学校継続雇用教諭, 大阪大学非常勤講師)
- 古田雄一さん (筑波大学人間系助教)
- 古野香織さん (認定NPO 法人カタリバみんなのルールメイキング課題解決ユニットリーダー)

■コーディネーター

- 斉藤仁一朗さん (東海大学資格教育センター准教授)

(2)自由研究発表セッション

自由研究発表は分科会 (1 発表につき持ち時間 35 分 (発表時間 15 分～20 分、質疑応答 15 分～20 分) の開催を予定しています。

発表者の皆さまは、発表申し込みの際に、ご自身の発表内容が関連しうる「キーワード」をお選びください。キーワードは最大 3 点まで選べます。発表者の皆さまから頂いた情報は、分科会の編成の際に、参考にさせていただきます。

| 【キーワード：最大 3 点まで選択可 <small>(選択必須)</small> 】 | |
|--|------------------------|
| 1. アート／文化 | 20. 思想・哲学 |
| 2. SDGs／ESD | 21. 教育史 (歴史) |
| 3. エンパワメント | 22. 教育政策 |
| 4. 教育の効果・評価 | 23. 教育方法／カリキュラム (教育課程) |
| 5. グローバル・シティズンシップ | 24. 教科教育 |
| 6. ことばの教育 | 25. 特別活動・課外活動 |
| 7. 子ども・若者の参加 | 26. 教師教育 |
| 8. 子ども・若者の実態 | 27. 高等教育 |
| 9. ジェンダー | 28. 社会教育・生涯学習 |
| 10. 社会運動 | 29. 政治教育／主権者教育 |
| 11. 社会正義 | 30. 道徳教育 |
| 12. 人権 | 31. 福祉教育 |
| 13. 人種／民族 | 32. 法教育 |
| 14. 青少年教育・ユースワーク | 33. 消費者教育 |
| 15. 多様性 | 34. 平和教育・紛争問題解決 |
| 16. デジタルシティズンシップ | 35. 比較教育・国際教育 |
| 17. 排除と包摂 | 36. 歴史教育 |
| 18. ボランティア／サービスラーニング | 37. その他: |
| 19. 地域連携／外部連携／NPO | |

研究大会としての性質に鑑みて、次のような発表を想定しています。

- ①研究成果を発表し、フィードバックを得る (通常の学会発表と同様)

②構想段階や計画段階にある研究に関して発表を行ってブラッシュアップする

③他の学会等で既に発表したものを再び発表し、異なる観点からのフィードバックを得る

(卒論のプレ発表／修論のプレ発表、および学会発表未経験者の発表でもよい)

【参考情報：初めて研究発表される方に向けて】

初めて研究発表される方は、以下の①～④の視点を踏まえて書くと、発表資料が作成しやすいと思います。

必要に応じて、参考にしてください。

①あなたが、明らかにしたいことは何ですか？（目的）

②なぜ①を明らかにしたいと考えるようになったのですか？（背景）

③①を明らかにするためにはどのような方法（手順）が必要ですか？（方法）

④あなたの研究は、先行研究を踏まえると、どのように位置づけることができますか？（研究の意義・位置づけ）

(3)アフタートークについて

17時30分～18時30分には任意参加のアフタートークを実施します。アフタートークでは、テーマ別に話題共有できる複数の部屋を用意します。設定する部屋の数・内容に関しては、参加申し込みの際に、参加申込者からアイデアをご記入（任意）していただき、記入状況を考慮に入れて、実行委員が最終決定する予定です。

5. 今後の日程

- ・自由研究発表 申込・要旨提出締切 2025年8月31日（日）
- ・第2次案内（プログラム）公開 2025年9月中旬頃
- ・参加申込締切 2025年9月24日（水）

6. 参加申込

2025年9月24日（水）までに、日本シティズンシップ教育フォーラム（J-CEF）ウェブサイト（<http://jcef.jp>）の案内に従って、オンラインでお申し込みください。なお、申込ページへの直接のリンク先は右の QR コード（上）からアクセスしてください。



*自由発表セッションでの発表を希望される方は、8月31日（日）までにお申し込みください。発表申込者は発表タイトル（仮のもので構いません）を別途ご報告いただきます。QR コード（下）からアクセスしてください。



*申込期間終了後の参加申込みにつきましては、事務局までお問合せください。

7. 自由研究発表セッション要旨提出

本大会では、各発表の要旨を J-CEF ウェブサイト（<http://jcef.jp/>）に事前に公開予定です（紙媒体での配布は予定しておりません。ご了承ください）。つきましては、自由研究発表セッションで発表される方は、以下の要領で要旨の作成および提出をお願いいたします。

(1)要旨の作成

- ・ Word ファイルでの作成をお願いします。
- ・分量は、A4 用紙 1 枚程度とします（最大 2 枚）。

- ・余白は上下左右 25mm、文字数 40、行数 40 でページ設定をお願いします。
- ・タイトル・サブタイトルおよび氏名・所属を冒頭 5 行に書いていただき、本文は 6 行目から始めてください。
- ・フォントサイズ等は、以下の通りお願いします。

①発表題目（主題・副題ともに） 中央揃え MS ゴシック、太字 12pt

②発表者名（所属） 右揃え MS 明朝 12pt

③本文・見出し MS 明朝体 12pt

※サンプル（本紙最終ページに掲載）と昨年度の発表要旨集録を右の QR コードから参照してください。



(2)要旨の提出

2025 年 8 月 31 日（日）までに、jcef2013@gmail.com までお送りください。

期日までに提出がなかった場合、今年度大会での発表を取り下げたと判断する場合があります。

期日厳守でご協力のほど、よろしく願いいたします。

8. 「シティズンシップ教育研究大会 2025」実行委員 (五十音順)

市川享子（東海大学健康学部准教授）

井上昌善（愛媛大学教育学部准教授）

小栗優貴（京都教育大学社会科学科講師）

川口広美（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）

川中大輔（関西学院大学人間福祉学部専任講師） <委員長>

北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

久保美奈（千葉経済大学経済学部専任講師）

斉藤仁一朗（東海大学資格教育センター准教授）

橋崎頼子（奈良教育大学教育学部教授）

古田雄一（筑波大学人間系助教）

星 瑞希（北海道教育大学教育学部准教授）

若槻 健（関西大学文学部教授）

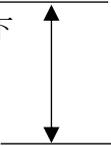
9. お問い合わせ先

日本シティズンシップ教育フォーラム（J-CEF）事務局

E-mail：jcef2013@gmail.com（担当：川中）

以上

余白は上下
ともに
25 ミリ



【文字数・行数の設定について】
文字数 40、行数 40 でページ設定をお願いします。

余白は左右
ともに
25 ミリ



タイトル（中央揃え MS ゴシック、太字 12pt）
——サブタイトル（中央揃え MS ゴシック、太字 12pt）——

発表者氏名（括弧内に所属）（いずれも右揃え MS 明朝 12pt）

本文・見出し（6行目から：MS 明朝、12pt）

- ※分量は、A4 用紙 1 枚程度とします（最大 2 枚）。
- ※Word ファイルでの作成をお願いします。